

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぷらすゆー / PLUSYOU manabi		
○保護者評価実施期間	令和6年10月17日		令和6年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数) 45名
○従業者評価実施期間	令和6年12月4日		令和6年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の運営や利用者負担額などの説明がきちんとなされ、利用者全員が納得して支援を受けていること。	支援者と利用者が1対1の個別利用型のため、社会性を身に着けるため、同時間利用者とのグループ活動に取り組めるよう意識している。	SNSの利用により、迅速かつ分かり易い情報の発信に取り組む。
2	個別支援計画の内容がよく分析されたうえで作成され、利用者や保護者のニーズに内容が合致、それに基づいた支援をおこなうにあたり、所内空間が活動にマッチしていること。その為に利用者が居心地よく過ごしていること。	高学年の利用者には自分の言葉で希望や願い、将来の目標などを語ってもらえるよう、積極的に本人面談に取り組んでいる。	新しい教材の開発や提案に取り組み、より個々に合った支援を目指す。
3	個別支援計画に記載された内容の支援がきちんとおこなわれていると満足してもらえていること。またその内容について日頃から、保護者との共通理解のもとで支援を進められていること。	同じニーズを持っている利用者同士、保護者同士が交流できる場を設けていること。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援や、保護者会の開催などにより、保護者同士の交流が設けられるなどの家族への支援、きょうだい向けのイベント開催などきょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	それに対する利用者や保護者のニーズを調査していないため、どこまでニーズがあるのかを把握できていない。 1対1の個別利用型のため、それぞれの利用時間にずれがあり、一斉のイベント開催が難しい状況である。	まずはニーズや必要性がどのくらいあるのかをアンケート形式で把握する。ニーズがあれば保護者同士の交流を更に拡げ、兄弟や家族へ向けての支援へと発展させていく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が設けられていない。	それに対する利用者や保護者のニーズを調査していないため、どこまでニーズがあるのかを把握できていない。 1対1の個別利用型のため、それぞれの利用時間にずれがあり、一斉の交流イベント開催が難しい状況である。	まずはニーズや必要性がどのくらいあるのかをアンケート形式で把握する。ニーズがあればどのような形での交流が可能かを検討する。
3			